

松崎天民 まつざき てんみん 新聞記者。明治十一年五月十八日岡山縣生れ、昭和九年七月、干、二百廿四(二七六一)三三三)。本名市郎。筆名天民生、惟想郎、松崎生、空念坊等。『國民新聞』を皮切り、東世諸新聞で記者生活。二十五年。昭和二年雑誌『食道楽』主宰。

著書『淪落の女』(大正元年十一月十日磯部甲陽堂)、『社會觀察』萬年筆

(大正二年七月十日磯部甲陽堂)、

同棲十二年』(大正二年九月八日磯部

甲陽堂)、『戀と名と金と』(大正四

年一月十七日弘學館書店)、『人間世

間』(大正四年十月五日磯部甲陽堂)、

『探偵ロマンズ』(岩井)二郎談、大正四年十一月十八日銀座書房)、

『漂泊の男・流轉の女』(大正五年四月十日弘學館書店)、『萬龍未

來記』(合著・野元北馬編、大正五年十一月一日須原格興社)、『酔

ごの悲哀』(大正六年六月二十二日磯部甲陽堂)、『運命の影』

(大正六年十一月八日磯部甲陽堂)、『歡樂の底より』(大正七年十

二月十五日磯部甲陽堂)、『女人崇拜』(大正九年九月十五日精永

堂)、『記者人間秘話』(大正十二年九月二十五日新报社)、『人間

見物』(昭和二年十一月十五日藤入社書局)、『新聞記者打明け話』

(合著・大阪朝日新聞社整理部編、昭和二年四月十七日世界社)、『曲

水流鶯』(合著、昭和四年二月由水主人刊)、『裏面暗面實話』(昭



和四年十月十日平凡社)『明治實話全集』、『二

都喰シある説(東京喰シある説)』(昭和七年八

月)千八百誠文堂『誠文堂文庫』)等。

